

様式第3号(第12条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第1回吉川市健康増進計画案策定委員会
開催日時	令和5年8月3日(木) 午後3時00分から午後3時50分まで
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	柴田亜希委員、稲垣幸子委員、山川律子委員 程田浩司委員、山口剛介委員、石田和親委員、小林和雄委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	健康増進課 課長 互英久 健康増進課 健康増進係長 西野亜希
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 正副委員長選出 3 議事 (1) 健康増進法に基づく基本方針と健康増進計画について (2) 吉川市健康増進計画の達成状況 (3) 計画案策定スケジュール 4. その他 【公開】
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	1. 第1回吉川市健康増進計画案策定委員会次第 2. 資料1 位置づけ 3. 資料2 数値目標の評価状況 4. 資料3 第3次吉川市健康増進計画スケジュール(予定) 5. 資料4 第2次吉川市健康増進計画 6. 吉川市健康増進計画案策定委員会設置要綱
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	稲垣幸子委員、山川律子委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

委員長

○正副委員長互選

委員長：柴田亜希委員 副委員長：山川律子委員

○議事

会議録署名は、稲垣幸子委員、山川律子委員にお願いする。

この会議は、傍聴要領に基づき公開とし、傍聴と認める者の人数を5名とする。

議事（1）健康増進法に基づく基本方針と健康増進計画について

事務局

資料1「位置づけ」のとおり説明

委員長

事務局からの説明に対し、質問等はあるか。

各委員

なし

委員長

議事（2）吉川市健康増進計画の達成状況

事務局

資料2「数値目標の評価状況」のとおり説明

健康寿命の延伸を含む「目標に達成した」のは6項目、「目標に達していないが改善傾向にある」のは7項目であり、合計13項目について改善したと評価している。

肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症、糖尿病性腎症による新規透析導入等の7項目は、改善が見られなかった。評価困難の7項目は、「調査自体は継続しているが、調査方法が途中で変更」と「新興感染症（新型コロナ）の感染拡大による影響」による。

国の第3次健康増進計画は12年間の長期であり、社会構造の変化、新たな法律、様々な指針の改正やデータソースとなる調査が変更になることも予想される。

市の次期健康増進計画は、国の第3次計画を実現するために方向性として示されている、生活の土台となる「社会環境の質の向上」については、まちづくり全般に渡る施策であると考え、当市では第6次吉川市総合振興計画を実行することで実現することとし、「個人の行動と健康状態の改善」については本計画により健康増進を図る。データソースについては実態把握のため、埼玉県の公的統計である「健康指標総合ソフト」を利用することを原則とし、その前提で目標設定を行いたい。

委員長

事務局からの説明に対し、質問等はあるか。

委員

年齢調整死亡率とは。

事務局

もし人口構成が基準人口と同じだったら実現されたであろう死亡率。昭和60年モデル人口が使用されているが、高齢化を反映し

委員長	た新しい基準人口を使用すべきということで、今後は平成 27 年平滑化人口に基づくと聞いている。
副委員長	人口構成の異なる地域間の死亡の状況を比較するための指標である。市民に示す際、わかりやすい説明を。
事務局	特定保健指導率の下がった点について、原因は。
副委員長	新型コロナ感染症により、健診の開始時期を遅らせたり、緊急事態宣言もあり、訪問や面接を実施し難い状況だったためである。
事務局	特定保健指導の終了率について、平成 30 年度は 6 割を超える高い割合だがどのような工夫があるか。
副委員長	当日保健指導、結果説明会、可能な限り対象者の希望する日程・時間で面接を実施、連絡が取れない場合はアポなしでの訪問を実施するなどである。それらは専門職が行い、受診率の向上は事務方の工夫による。
委員	内部のチームワークの様子が伺える。
副委員長	今後、団塊の世代が後期高齢者に移行する。国保全体で見ると、年齢構成が高くなっている。これまで健診を受けている方は継続受診が見込まれるが、40 歳代、働き盛りの方にどう健診を受けていただくか課題である。市を挙げて、例えば教育部局の御協力を得て、子どもの頃から健康診査の大事さを伝える等、何か効果的・先進的な取組みをご存知でしたらご教示願いたい。
委員長	管内 4 市も、同じように受診率・保健指導率の低さが課題だと把握している。ある市では、学校を通じて保護者に「健診を受けましょう」「家族全体で健康に過ごしましょう」という案内を渡していると記憶している。また保健所としては国保以外の方への介入として、事業所・商工会等、受動喫煙防止対策の状況確認を含め、健康支援を再開している。職域と行政の連絡会議も企画しており、共通する健康課題への地域支援に取り組んでいく。
委員	企業の健康経営という視点もこの計画において含むと望ましい。
副委員長	成人の話が続いたので、子ども達の健康について何か、日頃気づく点はあるか。
事務局	コロナ渦において、体育の授業にも活動制限があり、運動不足の傾向があったが、従来の教育活動が再開されているところであり、体力の向上を図る。食という面では全学年に栄養教諭の食育指導があり、引き続き充実させていきたい。
委員長	虫歯について目標値を大きく上回っているが、何か独自の取組があるのか。
副委員長	パパママ学級での講義、6 か月児を対象とした「にこにこ歯みがき教室」、1 歳を過ぎるとフッ化物塗布、幼児健診時ブラッシング

